

「2023 年度日本代表選手選考方法(男子)」

項目／競技会名	第 77 回全日本体操個人総合選手権 (以下、全日本個人)	第 62 回 NHK 杯 (以下、N 杯)	第 77 回全日本体操種目別選手権 (以下、全日本種目別)
開催期間	2023 年 4 月 21～23 日	2023 年 5 月 21 日	2023 年 6 月 10～11 日
開催場所	東京体育館	東京体育館	代々木第一体育館
出場資格及び人数	<p><全日本個人予選出場資格></p> <p>■個人総合 90 名</p> <p>①第 55 回全日本シニア体操競技選手権大会 15 名</p> <p>②第 76 回全日本学生体操競技選手権大会 15 名</p> <p>③上記①、②を除く全日本シニア選手権 1 部・全日本学生選手権 1 部・2 部上位 18 名</p> <p>④男子ジュニア強化部推薦 8 名</p> <p>⑤協会推薦 6 名</p> <p>⑥第 77 回全日本個人総合映像選考 10 名 (以下、個人映像選考)</p> <p>⑦ワールドユニバーシティ枠 18 名(以下、ユニバ枠)</p> <p>1.第 55 回全日本シニア体操競技選手権大会上位 6 チームに対して 1 枠</p> <p>2.全日本学生連盟推薦 12 チームに対して 1 枠</p> <p>※ユニバ枠の繰り上げはなし</p> <p>※個人映像選考実施後、上記①、②、③の選手数が定数に満たない場合は、個人映像選考 11 位以下の選手から定数まで順位順に追加する</p> <p>■種目別選手枠各種目 6 名</p> <p>①第 51 回世界選手権種目別ファイナリスト及び第 76 回全日本種目別選手権優勝者(当該種目)</p> <p>②上記①を含む種目別選手枠各種目上位 6 名</p> <p><全日本個人決勝出場資格></p> <p>■個人総合 30 名</p> <p>①第 51 回世界選手権個人総合優勝者</p> <p>②上記①を除く全日本個人予選上位 29 名</p> <p>※①が辞退した場合は全日本個人予選上位 30 名を対象とする</p>	<p><N 杯出場資格></p> <p>■個人総合 30 名</p> <p>①第 51 回世界選手権個人総合優勝者</p> <p>②上記①を除く全日本個人決勝上位 29 名</p> <p>※①が出場を辞退した場合は全日本個人予選上位 30 名を対象とする</p> <p>■種目別選手枠各種目 6 名</p> <p>①個人総合出場者を除く全日本個人予選上位 6 名</p>	<p><全日本種目別予選出場資格></p> <p>■各種目上位 24 名(跳馬のみ 18 名)</p> <p>①第 51 回世界選手権種目別ファイナリスト及び第 76 回全日本種目別選手権優勝者(当該種目) (日本国籍を有する選手)</p> <p>②全日本個人予選各種目上位 8 名(跳馬を除く)</p> <p>③②を含む全日本個人決勝各種目上位 8 位(跳馬を除く)</p> <p>④上記①、②、③を含む種目別映像選考各種目上位 24 名(跳馬は 18 名)</p> <p>⑤N 杯上位 10 名及び N 杯終了時点で暫定順位上位 3 位のチームに入っている選手は跳馬においてチーム貢献のための 1 跳越が可能(決勝進出資格なし)</p> <p><全日本種目別決勝出場資格></p> <p>■各種目上位 8 名</p> <p>①第 51 回世界選手権の種目別メダリスト(当該種目)</p> <p>②全日本種目別予選上位 8 名</p> <p>※②は①を含めた人数</p> <p><種目別映像選考></p> <p>全日本種目別出場資格保有者を除き全日本個人総合選手権後に映像選考を実施する</p> <p>※種目別映像選考希望者 1 種審判員 2 名の推薦を受け、予定演技構成及び演技動画を申し込み用紙に添えて提出すること</p>

	<p>※リザーブは2名とする</p> <p>■種目別選手枠各種目6名</p> <p>①個人総合出場者を除く全日本個人予選上位6名</p>		
跳馬の跳越数	1跳越	1跳越	<p>1～2跳越</p> <p>※N杯10位以内の選手及びN杯終了時点で暫定順位上位3位のチームに入っている選手は予選においてチーム貢献のための1跳越が可能</p>
オーダーと班編成	<p><全日本個人予選></p> <p>各班36名の2班編成</p> <p>2班シード選手</p> <p>①2022年度ナショナル強化選手(個人総合選出)</p> <p>②ジュニアナショナル強化部推薦4名</p> <p>③上記①、②を含む成績順から選出された36名</p> <p>各班の開始種目はオープン抽選</p> <p><ユニバ枠及び種目別選手枠></p> <p>ユニバ枠選手をゆか、あん馬、つり輪に配置、種目別選手枠を跳馬に配置しオープン抽選とする</p> <p><全日本個人決勝></p> <p>■個人総合</p> <p>全日本個人予選順位順</p> <p>(FIG競技規則個人総合オーダー)</p> <p>シード選手が決勝のみ出場した場合は最終オーダーとする</p> <p>■種目別選手枠</p> <p>各種目成績順に下位の選手から演技を行う</p> <p>※同点者がいる場合、個人総合は、FIG競技規則、種目別選手枠はオープン抽選とする</p>	<p><N杯></p> <p>■個人総合</p> <p>全日本個人順位順</p> <p>(FIG競技規則個人総合オーダー)</p> <p>シード選手が決勝のみ出場した場合は最終オーダーとする</p> <p>■種目別</p> <p>各種目成績順に下位の選手から演技を行う</p> <p>※同点者がいる場合、個人総合は、FIG競技規則、種目別選手枠はオープン抽選とする</p>	<p><全日本種目別予選></p> <p>跳馬におけるチーム貢献得点のための演技実施者を第4ローテーションに当てはめたうえでオープン抽選とする</p> <p><全日本種目別決勝></p> <p>予選の成績順に下位の選手から演技を行う</p> <p>シード選手が決勝のみ出場した場合は最終オーダーとする</p>
大会順位	全日本個人予選+決勝(個人総合)	全日本個人予選+決勝+N杯(個人総合)	全日本種目別決勝(種目別)
第52回世界選手権 日本代表選考方法	<p>I. 選手の選出</p> <p>1. 第51回世界選手権個人総合優勝者(以下、内定選手)</p> <p>2. 個人総合2名</p> <p>3. 1、2を含むチーム得点(ベスト3)を算出し、以下の表に該当する基準に該当する最上位チームのメンバー2名を日本代表選手とする</p> <p>表1 第52回世界選手権日本代表選手選出基準</p>		

1	内定選手	1名
2	N杯上位(内定選手を除く)	2名
3	チーム貢献得点選出者 A(個人総合8位以内)	1名
4	チーム貢献得点選出者 B(個人総合順位による制限なし)	1名

II. チーム貢献得点の算出

チーム貢献得点選出者(A、B)は1、2の個人総合3名と組み合わせ、チーム得点(5選手のベスト3)を算出する

1、2の個人総合3名の基準点は全日本個人予選・決勝、N杯3試合のうち各種目得点が高い2試合の平均得点を採用する

3、4のチーム貢献得点選出者のチーム貢献得点は国内選考会5試合のうち各種目得点が高い3試合の平均得点を採用する

※跳馬のチーム貢献得点は1本目の演技のみを対象とする

内定選手のチーム基準点の算出は全日本個人予選、決勝、N杯のうち、個人総合出場回数により決定する

内定選手のチーム基準点が2022年度参考スコアを下回った種目については2022年度参考スコアを採用する

表2 内定選手個人総合出場回数によるチーム基準点の決定

0~1試合	2試合	3試合
2022年度参考スコア(表3)	2試合中ベストスコア	3試合中上位2試合の平均得点

表3 2022年度参考スコア

種目	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒
得点	14.666	14.333	14.000	14.900	15.000	15.100

※第51回世界選手権個人総合予選・決勝のうち、高いスコアを採用

III. 候補選手

候補選手を以下の基準により1名選出する

表4 第52回世界選手権日本代表候補選手選出基準

1	個人総合次点選手	1名
---	----------	----

※候補選手選出はアジア競技大会日本代表選手選考を考慮して決定する

※日本代表選手は日本代表候補選手と交代する可能性がある。選手の交代は強化本部長の提案により、選手選考委員会で決定する

第19回アジア競技大会日本代表選考方法

I. 選手の選出

1. 個人総合4名

2. 1を含むチーム得点(ベスト3)を算出し、以下の表に該当する基準に該当する最上位チームのメンバー1名を日本代表選手とする

※第52回世界選手権大会日本代表選手を除く

表5 第19回アジア競技大会選出基準

1	N杯上位	4名
2	チーム貢献得点選出者	1名

II. チーム貢献得点の算出

チーム貢献得点選出者は1の個人総合4名と組み合わせ、チーム得点(5選手のベスト3)を算出する

	<p>1の個人総合3名の基準点は全日本個人予選・決勝、N杯3試合のうち各種目得点が高い2試合の平均得点を採用する 2のチーム貢献得点選出者のチーム貢献得点は国内選考会5試合のうち各種目得点が高い3試合の平均得点を採用する ※跳馬のチーム貢献得点は1本目の演技のみを対象とする ※アジア競技大会代表選手選出は世界選手権選手選考を考慮して決定する</p> <p>Ⅲ. 候補選手 個人総合次点選手1名 ※日本代表選手は日本代表候補選手と交代する可能性がある。選手の交代は強化本部長の提案により、選手選考委員会で決定する</p>										
<p>2023FISU ユニバーシティゲームス成都大会 日本代表選考方法</p>	<p>I. 選手の選出 1. 個人総合4名 2. 1を含むチーム得点(ベスト3)を算出し、以下の表に該当する基準に該当する最上位チームのメンバー1名を日本代表選手とする</p> <p>表6 2023FISU ユニバーシティゲームス成都大会日本代表選手選出基準</p> <table border="1" data-bbox="421 507 1193 587"> <tr> <td>1</td> <td>全日本個人上位</td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>チーム貢献得点選出者</td> <td>1名</td> </tr> </table> <p>II. チーム貢献得点の算出 チーム貢献得点選出者は1の個人総合4名と組み合わせた時、チーム得点(5選手のベスト3)を算出する 1の個人総合4名の基準点及びチーム貢献得点は全日本個人予選・決勝2試合のうち各種目ベストスコアを採用する 2のチーム貢献得点選出者のチーム貢献得点は全日本個人2試合の平均得点を採用する ※跳馬のチーム貢献得点は1本目の演技のみを対象とする</p> <p>Ⅲ. 候補選手 個人総合次点選手1名 ※日本代表選手は日本代表候補選手と交代する可能性がある。選手の交代は強化本部長の提案により、選手選考委員会で決定する</p>	1	全日本個人上位	4名	2	チーム貢献得点選出者	1名				
1	全日本個人上位	4名									
2	チーム貢献得点選出者	1名									
<p>ナショナル強化選手</p>	<p>以下の基準によりナショナル強化選手を原則12名選出する</p> <p>表7 ナショナル強化選手選出基準</p> <table border="1" data-bbox="421 986 1234 1187"> <tr> <td>1</td> <td>第52回世界選手権日本代表選手</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>第19回アジア競技大会日本代表選手</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>2023FISU ユニバーシティゲームス成都大会日本代表選手</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>NHK杯上位10名</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>協会推薦選手</td> </tr> </table>	1	第52回世界選手権日本代表選手	2	第19回アジア競技大会日本代表選手	3	2023FISU ユニバーシティゲームス成都大会日本代表選手	4	NHK杯上位10名	5	協会推薦選手
1	第52回世界選手権日本代表選手										
2	第19回アジア競技大会日本代表選手										
3	2023FISU ユニバーシティゲームス成都大会日本代表選手										
4	NHK杯上位10名										
5	協会推薦選手										
<p>日本代表選考に関わる タイブレーク</p>	<p><個人総合順位のタイブレーク優先順位> 1. 持ち点を除くN杯得点が高い選手 2. 全日本個人決勝得点が高い選手 3. 個人総合選考対象大会最終日の得点をFIGタイブレーク</p> <p><チーム選考タイブレーク優先順位></p>										

	1. チーム得点ベスト4 上位チーム 2. N 杯順位が高い選手を含むチーム <種目別通過順位タイブレーク> 1. 当該種目 D スコアが高い選手 2. 当該種目 E スコアが高い選手 ※上記ルールでも順位が確定しない場合は強化本部長の提案により、選手選考委員会で決定する
コロナウィルスの影響 による特別措置	当該選考会実施時の社会情勢等をふまえ特別対応の有無及び対応策について検討する

※上記選考方法については大会ルールの変更等が生じた場合、見直される場合がある